

年 代	一般的・教育的事項	修学旅行的事項	関 連 事 項
昭和41年 (1966)	教育の正常化と 高校入試の改善	全修協・機関紙「修 学旅行新聞」と改題 転換期の曲り角に立 つ——修学旅行	1. 1(土) 機関紙「旅と文化」(昭和32年12月3日発 刊)を「修学旅行新聞」と改題、第60号発行
いざなぎ 景気	2. 3(木) ソ連、月ロケットが 月面軟着陸に成功	1. 20(木) 南極「昭和基地」4年振 り再開	4. 5(火) 近畿地区公立高校修学旅行研究大会の開催 ①府県市修学旅行基準の改正 ②付添教職員の人員 ・処遇 ③輸送方法の改善 ④修学旅行専用宿舎建 設の要望 ⑤新しい修学旅行コースの設定をテーマ に研究発表・協議(修学旅行新聞No.61より)。
3. 5(土) 国鉄運賃 大幅値上 げ実施 旅客31% 新幹線 東京—新 大阪間 2等運賃 1,180円 ⇒ 1,730円 同指定席 特急料金 1,600円 (前年値 上げ)	中国、第3回核爆発 実験 5. 20(金) 全国委員長・教育長 合同会が高校入試3 教科実施を原則了解 6. 14(火) ILO87号条約発効 「教師の地位に関す る勧告」 8. 18(木) 中国、文化大革命発 生し紅衛兵旋風拡大	中国地区専用電車 高校「わこうど号」 中学校「ゆうじょう 号」、小学校「なか よし号」誕生 専用船「わかば丸・ ふたば丸」輸送—— 修学旅行生20万人余	○中国地区(広島・山口)修学旅行専用電車新造 急行165系改装型36両新造、10両編成で小・中・高 別3組、近畿、関東方面輸送に充当。
	10. 27(木) 中国、ミサイル実験 成功	2. 4(金) 全日空機、羽田着陸直前 東京湾に墜落——133人 全員死亡	7. 26(火) 近畿地区高校修学旅行専用船運営協議会の開催 「わかば丸」、「ふたば丸」の春季輸送実施報告と 秋季輸送計画決定——(修学旅行新聞No.66より)—— 春季393校117,273人(昨年より21,397人減)輸送 秋季299校86,160人(昨年より571人増)予定
	10. 31(月) 中教審、「後期中等 教育の拡充整備につ いて一別記・期待さ れる人間像」答申	7. 13(水) 東京都教委 学校群制度の決定 (学校群新設、内申書尊 重、三教科制の実施) ○カー・クーラー・カラ ーテレビの3C時代へ	7. 26(火)~8. 23(火) 全修協・第10回研修旅行の実施 北海道、九州コースに国内地区別、海外コースを加 えて11コース、総計5,096人の参加。
昭和42年 (1967)	3. 2(木) 中国主流派、紅衛兵 を解散、学校再開	4. 17(月) 東京~モスクワ間空路運 航開始(S.41.1.21日ソ 航空協定調印)	○9月 京都府国道上で修学旅行バスの衝突により、 東京品川の城南中生3人死亡、重軽傷30人。 昨昭和40年10月 京都山城の国道で、バス転落に より中学生1人死亡、重軽傷47人の事故に続発。
いざなぎ 景気	4. 15(土) 東京都知事に革新系 推薦美濃部亮吉当選	修学旅行専用列車・ 船利用が、百万人突 破のピークの年に	財団法人・全修協創立10周年
	4. 17(月) 米、月探測器サーベ イヤー3号打上げ、 19日に月面軟着陸	12. 9(土) 東京の都電 9系統8路線の廃止	11. 8(火)、9(水) 財団法人・全修協創立10周年記念 式典並びに第8回総会の開催
	6. 17(土) 中国、水爆実験成功	奄美大島へ 初の修学旅行団	○10年前の昭和30年、家庭電化の開花時代は洗濯機、 電気冷蔵庫、テレビが三種の神器として登場。
テレビ 一家に 一台時代	10. 18(水) ソ連、金星4号が金 星に軟着陸成功	関西汽船・観光旅行 船の進水 「あいぼり丸」 「こぼると丸」 共に3,000トン、21 ノット、阪神~別府 間12時間、7月就航	2. 14(火) 全修協・第1回関東地区中学校修学旅行研 究発表会の開催——恒例で現在まで毎年継続開催 修学旅行について栃木「カリキュラム」、千葉「安 全対策」、埼玉「保健衛生」の発表並びに国学院大 樋口清之教授の講演「歴史の真実と修学旅行」。
	10. 30(月) ソ連、コスモス188 号打上げ、186号と 初のドッキング成功		3. 8(水) 42年度・春の修学旅行第一陣が出発 関西へ「わかくさ号」で埼玉県中学生500人が出発 春季輸送「わかくさ号」約9万人、「ひので号」約 10万人、「きぼう号」約9万3千人、「わかば号」 約7万6千人等。(修学旅行新聞No.73より)
			4. 25(火) 奄美へ船中5泊6日の修学旅行団 東京世田谷の駒場学園高校(生徒490人)が大島運 輸の豪華船「ふじ」(3,000トン)を利用、日中見学 ・船中泊、神戸港発着、高知、奄美、鹿児島、広島 のコースで実施。(修学旅行新聞No.74より)
			7. 26(水)~8. 19(土) 全修協・第11回研修旅行の実施 北海道、九州コースに国内地区別、海外コースを加 えて13コース、総計4,765人の参加。
			7. 31(月) 全修協・修学旅行専用船運営協議会の開催

戦後の修学旅行の年表

年 代	一般的・教育的事項	修学旅行的事項	関 連 事 項
昭和43年 (1968)	<p><b>全学連闘争から 大学・高校紛争</b></p> <p>6. 15(土) 東京大学紛争の発生 —研修医問題で安田 講堂占拠、6. 17機動 隊排除、7. 2 再占拠 紛争拡大</p> <p>7. 11(木) 小学校学習指導要領 告示 (S. 46~実施)</p> <p>10. 17(木) 川端康成、ノーベル 文学賞受賞決定</p> <p>12. 6(金) 文部省、大学問題委 員会設置</p>	<p>4. 5(金) 小笠原の返還協定調印</p> <p>5. 16(木) 十勝沖でM7. 8の地震</p> <p>6. 10(月) 文部省通知</p> <p>10. 2(水) 文部省通達</p> <p>10. 12(土) 第19回オリンピック・メ キシコシチー大会開会</p> <p>10. 21(月) 国際反戦デー闘争、新宿 駅付近で過激派集団行動</p> <p>10. 23(水) 政府、明治百年式典主催 (日本武道館)</p>	<p>3. 27(水) 修学旅行専用船「わかば丸・ふたば丸」の 専用船百万人輸送達成 (修学旅行新聞No.86より) 昭和37年3月誕生の関西汽船「わかば丸」が「修学 旅行専用船百万人乗船記念航海」行事を開催。</p> <p>●文初中第338号 「修学旅行等における事故防止に ついて」——バス旅行の事故発生に対応</p> <p>●文初中第450号 「小学校・中学校、高等学校等の 遠足・修学旅行について」——教育的意義の再確認</p> <p>6. 17(月) 全修協・東京都高等学校修学旅行研究会</p> <p>6. 26(水) 全修協・万国博学校団体見学研究会開催 大阪府内児童生徒の見学につき、吹田市千里開発セ ンター南ビルにて協議並びに万国博敷地の見学。</p> <p>7. 25(木)~8. 15(木) 全修協・第12回研修旅行の実施 北海道、九州コースに国内地区別、海外コースを加 え13コース、総計 4,996人 (累計51,395人) 参加。</p> <p><b>全修協・研修旅行参加人数の累計 5万人超</b></p>
昭和44年 (1969)	<p>1. 16(木) 京都大学、学寮問題 で封鎖・スト継続 (9月解除)</p> <p>1. 18(土)、(19日) 東京大学、安田講堂 等機動隊 8,500人出 動により封鎖解除</p> <p>3. 1(土) 広島県立皆実高校卒 業式で総代が証書破 棄—全国高校「ゲバ 卒業式」が多発</p> <p>4. 10(木) 北海道大学、東北大 学等の入学式混乱</p> <p>4. 14(月) 中学校学習指導要領 告示 (S. 47~実施)</p> <p>5. 15(木) 標準法改正 (第3次 改善計画)</p> <p>7. 20(日) 米、宇宙船アポロ11 号人類初の月着陸に 成功</p> <p>8. 7(木) 「大学運営臨時措置 法」公布—8. 17施行</p>	<p><b>修学旅行費補助金の 大幅増額と 校外活動費補助金の 新設 共に実現</b></p> <p><b>海洋思想普及に、 修学旅行専用船の全 国的利用 増大</b></p> <p>5. 26(月) 東名高速道路全面開通</p> <p><b>中学校の修学旅行は 特別活動の 「修学旅行的行事」</b></p> <p>6. 10(火) 経企庁発表 S. 43GNP、世界第2位</p> <p>10月 国鉄は団体扱 いの人数を15人以上 に改訂 (へき地校は 従来通り特例扱い)</p> <p><b>豪華客船 続々進水 東海汽船 「かとれあ丸」 2,300トン19ノット 大島運輸 「にほん丸」 3,000トン22ノット</b></p>	<p>○昭和44年度の修学旅行費補助金は要求予算に近い額 小学生 1,700円、中学生 5,400円で決定 (前年度小 学生 1,550円、中学生 3,660円)、新設の校外活動 費補助金は小学生 100円、中学生 180円。</p> <p>○専用船「わかば丸・ふたば丸」が昨年3月百万人輸 送達成後利用がますます活発化、昨年度総計 501校 135,401人輸送。近畿 277校78,775人、四国 120校 28,865人、九州14校 2,906人、他地区90校24,855人 (15都道府県) 関西は春 147校、秋 130校で同型、 他地区は春63校、秋27校で春型。 (修学旅行新聞No.93より)</p> <p><b>中学校学習指導要領の改訂</b> 教育課程を各教科、道徳、特別活動の3領域構成 とし、特別活動の「修学旅行的行事」として位置づ け、遠足、修学旅行、集団宿泊などを含む。 ——望ましい人間形成を目指す、 調和と統一のある教育課程——</p> <p>7. 25(金)~8. 15(金) 全修協・第13回研修旅行の実施 北海道、九州コースに国内地区別、海外コースを加 えて18コース、総計 5,295人の参加。</p> <p>○科学技術館の修学旅行団入館者数 昨年は40万人突破(409,695人)、最高5月の83,095 人、2位4月の83,044人、3位10月の57,309人、最 低は2月の2,964人。中学校は1位新潟 132校、2 位宮城 116校、高校は1位北海道 181校、2位東京 47校。 (修学旅行新聞No.93より)</p> <p>12. 28(日) 国鉄との新幹線問題協議会に全修協参加 関係団体による専用電車設定及び料金免除の要請。</p>

年 代	一般的・教育的事項	修学旅行的事項	関 連 事 項
昭和45年 (1970)	高度成長経済から経済大国へ	3. 14(土) アジア最初の大阪万国博覧会開幕(～9. 15)	1. 13(火) 全修協による新幹線修学旅行専用電車設定と料金免除の運輸省陳情 2. 19(木)、4. 6(月) 同じく文部省陳情の実施
いざなぎ 景気	4. 24(金) 中国、初の人工衛星 打上げ成功	3. 31(火) 文部省通達	●文初中第209号「児童・生徒の修学旅行等における事故防止について」—万国博会場の事故発生に対応
マイカー 時代へ	7. 14(火) 閣議「日本」の呼称 「ニッポン」に統一	3. 31(火) 共産同赤軍派学生、日航 機よど号をハイジャック	7. 21(火)～8. 27(木) 全修協・第14回研修旅行の実施 万国博研修旅行に一般研修旅行を併せて総計1万人を超える参加(10,033人)。
高校進学 率82.1% 大学等進 学率 24.0%	7. 18(土) 東京杉並立正高校生 徒が光化学スモッグ 被害	10. 1(木) 国勢調査 総人口1億突破—含沖縄	○高等学校学習指導要領改訂で、高校の修学旅行を各教科以外の教育活動の「旅行的行事」に位置付け。 ○10月 全修協等陳情により、国鉄は連合体輸送の新幹線特急料金、中学生50%、高校生20%割引措置を決定、S. 46年3月から実施。
昭和46年 (1971)	10. 15(木) 高等学校学習指導要 領告示	高校の修学旅行は、 各教科以外の教育活 動の「旅行的行事」 新幹線特急料金の学 生団体割引の実施	財団法人・全修協創立15周年
	1. 20(水) 公害教育のため小・ 中学校学習指導要領 の一部改正	○大学の大衆化時代—4 人に1人、170万人台へ	2. 4(水)～2. 6(土) 財団法人・全修協創立15周年記念 総会(第12回総会)の開催
	6. 11(金) 中教審、「今後にお ける学校教育の総合 的な拡充整備のため の基本的施策につい て」答申	新幹線利用の修学旅 行の開始	3. 16(火) 関東地区修学旅行の新幹線利用出発式 全修協・関修委推進の新幹線利用修学旅行を開始。
列島改造 景気	8. 28(土) 円の変動相場制採用 1ドル=342円 (ドルショック)	6. 17(木) 沖縄返還協定調印式— S. 47. 5. 15沖縄返還	○海の銀座・瀬戸内海にカーフェリーの登場 関西汽船「ゆふ」3月～、「まや」6月～が阪神— 松山—別府間就航、共に3,300トン、20ノット。
昭和47年 (1972)	2. 27(日) ニクソン米大統領が 北京訪問、毛主席と 会談、米中国回復	7. 30(金) 岩手県下で訓練中の自衛 隊機が全日空機に衝突、 死者162人	7. 20(火)～8. 24(火) 全修協・第15回研修旅行の実施 北海道、九州コースに国内地区別、海外ヨーロッパ コースを加えて12コース、総計5,227人の参加。
列島改造 景気	2. 28(月) 2. 19(土)以来、浅間 山荘に立てこもった 連合赤軍全員を逮捕	専用電車の引退開始 東京「ひので号」 大阪「きぼう号」 関東「わかくさ号」 近畿「わかば号」 続いて、引退	10. 17(日) 大阪「きぼう号」最終号で181万人輸送 達成、13年間運行終了、引退。 10. 29(金) 東京「ひので号」最終号で240万人輸送 達成、13年間運行終了、引退。
	9. 29(金) 田中首相等代表団が 北京を訪問、国交正 常化で共同声明	3. 21(火) 奈良・明日香で高松塚古 墳壁画を発見	4. 25(火) 近畿「わかば号」最終号で66万人輸送達成 6. 7(水) 関東「わかくさ号」最終号で57万人輸送達 成、共にS. 40年以来7年間の運行終了、引退。
	10. 5(木) 文部省、学制発布百 年記念式典主催 (東京・国立劇場)	●近海郵船カーフェリー 「まりも」4月東京—釧 路就航、9,200トン	全修協主導による修学旅行委員会の全国組織化
		7. 20(木) 厚生省発表 平均寿命 男 70.2歳 (S. 46) 女 75.6歳	7. 7(金)、8(土) 全修協主導により第1回関東・東海・ 近畿三地区公立中学校修学旅行連絡協議会の発足 続いて、10. 20(金)、21(土) 第2回開催、修学旅行 の共通問題解決と全国的な修学旅行向上への対応。
		8. 26(土) 第20回オリンピック・ミ ュンヘン大会開会	7. 21(金)～8. 25(金) 全修協・第16回研修旅行の実施 北海道、九州コースに国内地区別、海外ヨーロッパ コースを加えて20コース、本年より春季研修旅行を 開設、総計5,465人の参加。
		11. 21(火) 東京の都電 5系統廃止—荒川線存続	○戦後初の海外修学旅行(韓国旅行) 5月宮崎第一高等学校(47名)5泊6日韓国旅行 10月近江兄弟社高等学校(91名)5泊6日韓国旅行

戦後の修学旅行の年表

年 代	一般的・教育的事項	修学旅行的事項	関 連 事 項
昭和48年 (1973)	3. 29(木) ニクソン米大統領、 ベトナム戦終結宣言 米軍の撤兵完了	全修協・冬季教職員 研修旅行も実施開始	1. 3(水)～1. 10(水) 全修協は春季・夏季研修旅行に 併せて、南紀、四国、九州、沖縄等のコースで冬季 研修旅行の実施開始。
列島改造 景気	8. 8(水) 韓国新民党首金大中 を東京のホテルから 強制連行	修学旅行費の補助拡 大—高度へき地校 8. 18(土) 日本海博開幕(～10. 14) —金沢市	○高度へき地(3級～5級)の公立小・中学校修学旅 行等の国が2/3、市町村1/3の公費負担決定、限度は 要保護・準要保護家庭補助金と同額(本年度小学生 3,100円、中学生 8,900円)、本年度予算額11,615万 円(小学生13,542人分、中学生14,859人分)。
第1次・ オイルシ ョックで 経済低成 長時代へ	10. 6(土) アラブ・イスラエル の戦争勃発で国際的 石油危機に突入 (オイルショック) 10. 23(火) 江崎玲於奈、ノーベ ル物理学賞受賞決定 12. 25(火) 日本の新中東政策を アラブ諸国が理解、 石油の供給増加	修学旅行の海洋時代 へ—船造り盛況 ●大洋フェリー4月大阪 —北九州就航「おりおん」 7,000トン、23.5ノット ●大島運輸6月東京—沖 縄就航「新さくら丸」 5,000トン、25ノット ●東九フェリー6月東京 —北九州就航「とね」 8,000トン、21ノット その他各社“新造船” 続々就航。	○東海汽船「さるびあ丸」2月～東京—伊豆大島間就 航、3,100トン、20ノット。38年間就航の「橘丸」 廃船交替。(修学旅行新聞No.134より) 3. 28(水)、29(木) 第3回関東・東海・近畿三地区公 立中学校修学旅行連絡協議会の開催 続いて、6. 28(木)、29(金)第4回開催、10. 25(木)、 26(金)第5回開催、現在の年2回定例開催定着。 7. 19(木) 全修協・東京都中野区中学校長会の修学旅 行座談会開催 7. 21(土)～8. 13(月) 全修協・第17回研修旅行の実施 国内・海外29コースを、夏、冬、春の各季研修旅行 として現行の形式が定着、総計 5,849人の参加。 9. 29(土) 全修協・東京都教職員修学旅行研究会開催 ○4月 九州「とびうめ号」、S. 37年以来12年間運行 終了、37万人輸送達成。 東北「おもいで号」、S. 38年以来11年間運行 終了、58万人輸送達成。 同年 東海「こまどり号」、S. 35年以来15年間運行 150万人輸送達成、新幹線に継承。在来線東海型 電車により、現在も「こまどり号」継続運行中。 同年 近畿「わかば丸」、S. 37年以来13年間運行 末 九州「ふたば丸」、S. 39年以来11年間運行 150万人輸送達成。以後専用船「こはく丸」に、 S. 58年から「さんふらわあ号」に交替継続。 海事思想、洋上体験の修学旅行として活躍。
昭和49年 (1974)	教員の人材確保 から専門職確立	修学旅行専用電車の 発展的引退 完了 ●「とびうめ号」引退 ●「おもいで号」引退 ●「こまどり号」引退 と継続運行	7. 21(日)～8. 26(月) 全修協・第18回研修旅行の実施 国内・海外25コースを、夏、秋、冬の各季研修旅行 として実施、総計 6,220人の参加。 ○東京都・修学旅行の実施基準の改正 公立高校の修学旅行実施学年を「最終学年又は全日 制は第2学年、定時制は第3学年の2学期以降」と 改正、従来の最終学年実施の慣行から早期実施の傾 向に対し実施基準の明確化。 ○東京の鷗友学園中では、岩手県滝沢村の谷間の柳沢 小中学校(児童生徒60人)と、自然と人の交流によ る体験学習(4泊5日)をS. 41年以来継続、学校ぐ るみの交流へ発展。(修学旅行新聞No.154より)
10. 1(火) 新幹線 東京—新 大阪間 普通運賃 2,230円 ⇒ 2,810円 同指定席 特急料金 1,900円 ⇒ 2,200円	1. 11(金) 日銀発表の12月卸売 物価が前年同月比29 %上昇—狂乱物価 2. 25(月) 「義務教育諸学校教 員の人材確保法」が 成立公布 3. 10(日) ルパン島で小野田 寛郎少尉を30年振り に救出 6. 22(土) 標準法改正(第4次 改善計画) 8. 30(金) 東京三菱重工業ビル で白昼時限爆弾爆発 —死傷者約 290人 10. 8(火) 佐藤栄作前首相、ノ ーベル平和賞受賞決 定	修学旅行専用船の廃 船—交替継続 3. 8(金) 学校群の東京都公立高校 入学辞退 7,165人に激増 4. 20(土) 日中航空協定調印 公立高校の修学旅行 早期実施の傾向 ●日本沿海フェリー8月 東京—苫小牧就航 第3 船として「さっぽろ丸」 1万1千トン、24ノット 山村の学校と交歓 「仲よし修学旅行」 10年目を迎える継続 実施(鷗友学園中)	

年 代	一般的・教育的事項	修学旅行的事項	関 連 事 項
昭和50年 (1975)	1. 15(水) 日立・三菱・東芝・ソニー等大手企業が操短、人員整理等の不況対策	全修協・訪華団による善隣友好の開幕 北京、西安、洛陽、上海に各3泊・車中2泊の15日間で歴訪。	2. 20(木) 博多方面新幹線設定に関し国鉄本社へ陳情 全修協並びに近畿修学旅行委員会により実施。
カラーテレビ 全世帯に普及	2. 28(金) 2月の失業率が、日本は2.0%(100万人)、米国は8.2%(755万人)	3. 10(月) 東海道・山陽新幹線全線(東京～博多間) 開通	4. 7(月) 全修協が日本教職員友好訪華団の招請依頼を受諾 <b>全修協・友好訪華団派遣の開始</b> 中華人民共和国、中日友好協会から招請を受け、友好訪華団学習会を7.15(火)東京、7.17(木)大阪で開催、第1次日本教職員訪華団(総員43人)訪中を8.15(金)～29(金)に実施(15日間)
11. 20(木) 東京-新大阪間 普通指定席	4. 17(木) カンボジア首都を解放軍が占領、新政府樹立	4. 12(土) 東京大学、7年ぶりの入学式を日本武道館で挙行	7. 21(月)～8. 7(木) 全修協・第19回研修旅行の実施 国内・海外28コースを、冬、春、夏の各季研修旅行として実施、総計7,907人の参加。
特急料金 2,200円 ⇒ 2,700円	4. 30(水) 南ベトナム解放軍が首都に無血入城、ベトナム30年戦争終結	小グループ制の自主見学、5回継続実施——高校の修学旅行	○青森県八戸北高校では、5泊6日に2日間の小グループ制自主見学を導入、生徒各自が一年前から見学地選定、コース検討、見学テーマ設定をし、自分の足と目で検証、記録「はらからの旅」に集約、地道な5年継続の実施。(修学旅行新聞No.163より)
高校進学率91.9%	9. 30(火) 天皇、初の訪米出発	7. 19(土) 沖縄国際海洋博開幕	○9月 大分県立高校2年生が修学旅行中、東京の旅館でふざけて頸椎損傷手足麻痺の事故発生、49年の10月 三重県立高校2年生が修学旅行中、熊本阿蘇の旅館でボクシングで脳内出血死亡に続く発生。
大学等進学率 38.4%	1. 9(金) 周恩来中国首相死去	高校の修学旅行生、生活行動で死亡事故等の続発	○1月～ 財団法人・全修協創立20周年記念事業として、修学旅行の論文と作文の募集——論文137点、作文1,393点の応募、3次審査を経てS.52.2.10の修学旅行新聞No.182で審査結果発表。
昭和51年 (1976)	<b>オイルショックから低成長時代</b>	1. 6(火) 京都・平安神宮本殿等を焼失	○S.49年度の修学旅行宿泊数——京都府警の調べ 小学校 701校 106,014人 秋季 498,519人 中学校 2,251校 468,805人 春季 421,347人 高 校 2,374校 514,965人 夏季 160,891人 合 計 5,326校 1,089,784人 冬季 9,027人 一般団体を加えて4,942,000人、個人客を加えて36,919,000人 (修学旅行新聞No.170より)
11. 6(土) 国鉄運賃 50%値上げで、新幹線特急グリーン席は航空機運賃より高額	7. 2(金) ベトナム社会主義共和国の樹立宣言	京都の旅館——修学旅行宿泊が109万人で飽和状態	○7～8月 全修協・第20回研修旅行の実施 国内・海外コース数を増加、冬、春、夏の各季研修旅行総計6,992人(累計104,383人)の参加。
東京-新大阪間 普通運賃 2,810円 ⇒ 4,300円	7. 4(日) 米、建国200年独立記念日	●大島運輸「さくら丸」13,000トン、青年の船、巡航見本市の船で活躍したが、4月から修学旅行専用船へ転用就航	<b>財団法人・全修協創立20周年</b>
同指定席 特急料金 2,700円 ⇒ 4,000円	7. 20(火) 米、火星探測器バイキング1号が軟着陸成功	近畿地区中学校の中国・九州旅行 激増——九州へは片道船舶利用が多い——	3. 20(土)～21(日) 財団法人・全修協創立20周年記念式典並びに第17回総会の開催
	8. 2(月) ロッキード事件で田中角栄前首相を起訴	7. 17(土) 第21回オリンピック・モントリオール大会開催	○S.52年度の近畿地区中学校修学旅行の輸送申込 関東方面 297校64,035人、信州方面 130校44,577人 中国・九州方面 258校84,782人計 685校 193,394人 新幹線博多開通で、中国・九州方面が激増するも、九州へは往路片道の船舶利用が多い。 (修学旅行新聞No.177より)
	9. 6(月) ソ連ミグ戦闘機が函館空港に強行着陸	11. 6(土)国鉄50%値上げ 新宿-八王子間 310円 (京王線 190円) 品川-横浜間 190円 (京浜急行 160円)	○7～8月 全修協・第20回研修旅行の実施 国内・海外コース数を増加、冬、春、夏の各季研修旅行総計6,992人(累計104,383人)の参加。
	9. 9(木) 毛沢東中国主席死去		<b>全修協・研修旅行参加人数の累計10万人超</b>
	11. 10(水) 天皇在位50年式典を東京・日本武道館で開催		11. 26(金)～全修協・第1次日本学校長友好訪華団(総員20人)の派遣(12日間)

戦後の修学旅行の年表

年 代	一般的・教育的事項	修学旅行的事項	関 連 事 項
昭和52年 (1977)	<p><b>ゆとりと充実の教育へ</b></p> <p>3. 5(土) 宇宙開発事業団「きく2号」我が国最初の静止衛星</p> <p>9. 20(火) 新幹線特急グリーン席の運賃・特急料金値下げ、普通席は据置き</p> <p>円高へ</p> <p>3. 5(土) 主任制度化未実施の5都道府県教育長会議で主任制導入確認</p> <p>5. 1(日) 全国推定人口(S. 51 10. 1) 1億 1,380万と総理府発表</p> <p>7. 23(土) 小・中学校学習指導要領告示</p> <p>11. 1(火) 円高1ドル=247円記録更新240円台へ</p> <p>12. 21(水) 主任手当法成立公布</p>	<p>中学校の「修学旅行的行事」を、「旅行的行事」に改称</p> <p>6. 25(土) 厚生省発表 平均寿命 男 72歳 (S. 51) 女 77歳</p> <p>8. 7(日) 北海道・有珠山噴火</p> <p>9. 28(水)～10. 3(月) 日本赤軍、ボンベイ上空で日航機をハイジャック 身代金 600万ドル要求</p> <p>12. 5(月) 文部省発表 大学進学率37.7%、11年振り減、昨年比 0.9%減</p> <p>青森と東京の姉妹校・修学旅行での交歓</p> <p>昭和52年 修学旅行 京都市への入り込み ますます増大</p> <p>3. 26(日)～28(火) 成田空港反対闘争が激化 器物破壊等で開港延期</p> <p>5. 20(土) 新東京国際空港の開港式</p> <p>6. 12(月) 宮城沖でM7. 5の地震、仙台の震度5、被害甚大</p> <p>9. 30(土) 京都市の市電全廃</p> <p>高校の修学旅行も、特別活動の「旅行的行事」で統一</p> <p>友好訪華団の旅行— 12泊13日、参加費33万7千円、定員30名</p> <p>11. 29(水) 文部省通知</p> <p>10. 12(木) 警察庁発表 サラ金地獄・1～8月中自殺 130人、家出 1,502人、暴力団関与 3,546社</p>	<p><b>中学校学習指導要領の改訂</b></p> <p>中学校の「修学旅行的行事」を、高校の「旅行的行事」に統一改称する。第3学年の「選択教科」の拡張や「裁量時間」の導入、「勤労体験学習」の強調等が図られる。</p> <p>—豊かな人間性の育成を目指す—</p> <p>ゆとりと充実のある教育課程—</p> <p>○7～8月 全修協・第21回研修旅行の実施 国内・海外コース数を増加、冬、春、夏の各季研修旅行総計 5,768人(累計 110,151人)の参加。</p> <p>8. 12(金)～ 全修協・第3次日本教職員友好訪華団の派遣(15日間)</p> <p>10. 10(月) 修学旅行論文作文集「心にのこる修学旅行」の刊行—全修協・財団法人創立20周年記念事業</p> <p>10. 14(金) 青森県鮭ヶ沢第一中の修学旅行団が姉妹校の江東区立第二亀戸中を訪問、持参した材料から「ねぶた作り」等の交歓会を開催、第二亀戸中も東北修学旅行で鮭ヶ沢第一中の訪問交流を継続実施。</p> <p>○京都市への修学旅行入込状況—京都府警調べ S. 50年 総計5,726校1,159,912人、S. 51年 総計5,749校 1,168,048人、更にS. 52年 総計5,928校 1,350,200人と増加の一途で、旅館の確保が困難。</p> <p><b>公立高校修学旅行・全国最初の航空機利用許可</b></p> <p>○4月 福岡県教育委員会は高校修学旅行の沖縄旅行を許可、航空機利用も試行的に許可。</p> <p>○7～8月 全修協・第22回研修旅行の実施 従来の現職者コースに、生涯学習としての退職者コース・春、秋の「グリーンツアー」を追加開始、国内・海外60前後のコースで四季を通じての実施形式が確立、総計 5,197人(累計 115,348人)の参加。</p> <p>8. 7(月)～ 全修協・第4次日本教職員友好訪華団の派遣(13日間)</p> <p>○高等学校学習指導要領改訂で、高校の各教科以外の教育活動を「特別活動」の領域とし、修学旅行は中・高とも特別活動の「旅行的行事」で統一。</p> <p>11. 24(金)～全修協・第2次日本学校長友好訪華団の派遣(13日間) 第1日北京1泊、第2・3・4日西安3泊、第5・6日洛陽2泊、第7・8日鄭州2泊、第9日車中1泊、第10・11・12日北京3泊、第13日成田着。</p> <p>●文初中第334号 「小学校・中学校及び高等学校の修学旅行等における集団中毒の防止にかかる都道府県衛生部長への依頼について」 —従来、昭和30年4月通達で実施の当該衛生部長からの回答を廃止、校長からの2週間前までの依頼を1か月前までの確実実施に改正。</p>
昭和53年 (1978)	<p>2月の完全失業 136万人、不況深刻化</p> <p>6. 16(金) 中教審「教員の資質向上について」答申</p> <p>8. 1(火) 円高1ドル=190円割れから190円台へ</p> <p>8. 12(土) 日中平和友好条約を北京で調印</p> <p>8. 30(水) 高等学校学習指導要領告示(習熟度別編成導入、S. 57～実施)</p> <p>11. 16(木) 文部省、特殊教育百年記念式典主催</p> <p>12. 15(金) 東京都中野区議会、教育委員準公選条例可決</p>	<p>3. 26(日)～28(火) 成田空港反対闘争が激化 器物破壊等で開港延期</p> <p>5. 20(土) 新東京国際空港の開港式</p> <p>6. 12(月) 宮城沖でM7. 5の地震、仙台の震度5、被害甚大</p> <p>9. 30(土) 京都市の市電全廃</p> <p>高校の修学旅行も、特別活動の「旅行的行事」で統一</p> <p>友好訪華団の旅行— 12泊13日、参加費33万7千円、定員30名</p> <p>11. 29(水) 文部省通知</p> <p>10. 12(木) 警察庁発表 サラ金地獄・1～8月中自殺 130人、家出 1,502人、暴力団関与 3,546社</p>	<p>公立高校修学旅行・全国最初の航空機利用許可</p> <p>○4月 福岡県教育委員会は高校修学旅行の沖縄旅行を許可、航空機利用も試行的に許可。</p> <p>○7～8月 全修協・第22回研修旅行の実施 従来の現職者コースに、生涯学習としての退職者コース・春、秋の「グリーンツアー」を追加開始、国内・海外60前後のコースで四季を通じての実施形式が確立、総計 5,197人(累計 115,348人)の参加。</p> <p>8. 7(月)～ 全修協・第4次日本教職員友好訪華団の派遣(13日間)</p> <p>○高等学校学習指導要領改訂で、高校の各教科以外の教育活動を「特別活動」の領域とし、修学旅行は中・高とも特別活動の「旅行的行事」で統一。</p> <p>11. 24(金)～全修協・第2次日本学校長友好訪華団の派遣(13日間) 第1日北京1泊、第2・3・4日西安3泊、第5・6日洛陽2泊、第7・8日鄭州2泊、第9日車中1泊、第10・11・12日北京3泊、第13日成田着。</p> <p>●文初中第334号 「小学校・中学校及び高等学校の修学旅行等における集団中毒の防止にかかる都道府県衛生部長への依頼について」 —従来、昭和30年4月通達で実施の当該衛生部長からの回答を廃止、校長からの2週間前までの依頼を1か月前までの確実実施に改正。</p>

年 代	一般的・教育的事項	修学旅行的事項	関 連 事 項
昭和54年 (1979)	<p><b>国際化時代の幕開け</b></p> <p>1. 13(土)、14(日) 初の国公立大学共通一次学力試験実施 (32万 7,140人)</p> <p>3. 28(水) 米、スリーマイル島原発事故発生</p> <p>4. 8(日) 第9回統一地方選挙 東京、大阪で革新系知事敗退</p> <p>4. 24(火) 元号法案、衆院可決</p> <p>6. 6(水) 参院可決</p> <p>6. 12(火) 元号法公布</p> <p>6. 28(木)、29(金) 第5回先進国首脳会議 (東京サミット)</p>	<p>中学生の修学旅行費補助金は3万円を超え、校外活動費補助金は宿泊分を新設</p> <p>関西汽船「さんふらわあ7」6月就航、8,000トン、500席大ホール・プール設置の豪華船</p> <p>○熊本県修学旅行実施基準の改訂—高校の沖縄旅行に限り航空機利用許可</p> <p>“文化財の対象”としての伊勢参宮定着</p> <p>7. 11(水) 東名日本坂トンネル事故—乗用車等5台衝突炎上、7人死亡 退避車 173台次々炎上</p> <p>2. 2(土) 運輸省通達 「取扱料金の明示」 通達違反—厳罰</p> <p>7. 19(土) (幻の五輪) 第22回オリンピック・モスクワ大会 (米・日・独等不参加、参加81か国)</p> <p>8. 16(土) 静岡駅前地下街でメタンガス小爆発で都市ガス管大爆発、死者14人、重軽傷者 200人の大惨事</p> <p>新しい修学旅行に挑戦—篠ノ井旭高校—汗を流す漁業体験</p> <p>校内暴力事件—続発</p> <p>10. 27(月) 三重県尾鷲中、校内暴力事件で警官51人出動、生徒12人を補導</p> <p>●関西汽船「こがね丸」7,200トン、19.5ノット 近畿地区中学校専用船として阪神—別府間就航</p>	<p>○昭和54年度の修学旅行費補助金は小学生 9,300円、中学生30,600円で決定 (前年度小学生 8,300円、中学生26,100円)、校外活動費補助金は本年度から日帰り小学生 530円、中学生 820円の他に、宿泊小学生 1,300円、中学生 1,800円の補助を新設。</p> <p>○7～8月 全修協・第23回研修旅行の実施 夏季研修旅行を中心に、冬、春、秋の各季研修旅行実施、総計 5,426人 (累計 120,774人) の参加。</p> <p>8. 6(月)～ 全修協・第5次日本教職員友好訪華団の派遣 (12日間)</p> <p>8. 29(水) 全修協による修学旅行貸切りバス割引率引き上げの運輸省陳情</p> <p>11. 20(火)～ 全修協・第3次日本学校長友好訪華団の派遣 (10日間)</p> <p>○S. 54年1月～12月の伊勢参宮修学旅行の実態 “信仰の自由”からの批判もあるが、“文化財の対象” “静かな神域”として伊勢参宮が定着。 中学校 176校25,656人、高校 203校45,206人、各種学校32校 1,887人、総計 411校72,749人の参加、前年も総計 413校72,388人参加で例年同程度。</p> <p>●「修学旅行等に係る旅行業務の取扱料金その他の明示について」—学校等へ見積・精算書提出の際、旅行業法第12条に定める業務取扱料金明示の徹底。 和歌山県内中学校の修学旅行貸切りバスの不当料金 (取扱料金を含めて水増し) が判明、道路運送法違反で貸切りバス12台40日間使用停止の嚴重処分。</p> <p>○7～8月 全修協・第24回研修旅行の実施 夏季研修旅行を中心に、冬、春、秋の各季研修旅行実施、総計 5,153人 (累計 125,927人) の参加。</p> <p>8. 8(金)～ 全修協・第6次日本教職員友好訪華団の派遣 (12日間)</p> <p>8. 27(水)～30(土) 長野県篠ノ井旭高校2年生 200人が成田—銚子—勝浦—誕生寺の3泊4日のコースで地引き網の体験や海草類の採取、鹿島コンビナートの公害検証等見学体験旅行の新しいテーマに挑戦。 生徒の印象度は、①成田空港70.5%、②行川アイランド53.9%、③東電火力発電所38.5%、④ヤマサ醤油工場・鯛の浦28.2%、⑤鹿島コンビナート26.9%、⑥漁業体験10.3%、⑦勝浦朝市・誕生寺7.7%、⑧勝浦魚市場 2.5%、⑨小型漁船造船所 1.3%。</p> <p>○福岡県修学旅行実施基準の改訂 昭和53年度から高校の沖縄旅行許可、昭和55年度では、高校の沖縄旅行の航空機片道利用4泊5日、往復利用3泊4日で許可。福岡市の高校も準拠。</p>
昭和55年 (1980)	<p>4. 25(金) 標準法改正 (第5次40人学級12年計画)</p> <p>7. 6(日) 警察庁、55年度上半期の校内暴力事件 176件、前年比44%増と発表 (約8割は中学校)</p> <p>9. 21(日) イラン・イラクが全面戦争、国連安保理で停戦決議</p> <p>11. 4(火) 米国大統領選で共和党タカ派のレーガン当選</p> <p>12. 19(金) 国勢調査で総人口、1億 1,706万 1千人</p> <p>12. 31(水) 55年の全国校内暴力事件 1,558件 (中学校77%)</p>	<p>4. 20(日) 新幹線 東京—新大阪間 普通運賃 5,300円 ⇒ 5,700円</p> <p>同指定席特急料金 4,200円</p> <p>高校進学率94.2% 大学等進学率 37.9%</p>	<p>○「修学旅行等に係る旅行業務の取扱料金その他の明示について」—学校等へ見積・精算書提出の際、旅行業法第12条に定める業務取扱料金明示の徹底。 和歌山県内中学校の修学旅行貸切りバスの不当料金 (取扱料金を含めて水増し) が判明、道路運送法違反で貸切りバス12台40日間使用停止の嚴重処分。</p> <p>○7～8月 全修協・第24回研修旅行の実施 夏季研修旅行を中心に、冬、春、秋の各季研修旅行実施、総計 5,153人 (累計 125,927人) の参加。</p> <p>8. 8(金)～ 全修協・第6次日本教職員友好訪華団の派遣 (12日間)</p> <p>8. 27(水)～30(土) 長野県篠ノ井旭高校2年生 200人が成田—銚子—勝浦—誕生寺の3泊4日のコースで地引き網の体験や海草類の採取、鹿島コンビナートの公害検証等見学体験旅行の新しいテーマに挑戦。 生徒の印象度は、①成田空港70.5%、②行川アイランド53.9%、③東電火力発電所38.5%、④ヤマサ醤油工場・鯛の浦28.2%、⑤鹿島コンビナート26.9%、⑥漁業体験10.3%、⑦勝浦朝市・誕生寺7.7%、⑧勝浦魚市場 2.5%、⑨小型漁船造船所 1.3%。</p> <p>○福岡県修学旅行実施基準の改訂 昭和53年度から高校の沖縄旅行許可、昭和55年度では、高校の沖縄旅行の航空機片道利用4泊5日、往復利用3泊4日で許可。福岡市の高校も準拠。</p>

戦後の修学旅行の年表

年 代	一般的・教育的事項	修学旅行的事項	関 連 事 項
昭和56年 (1981)	<p><b>行財政改革から——緊縮財政へ</b></p> <p>1. 20(火) レーガン米大統領、就任演説で敵対国への強硬方針表明</p> <p>3. 16(月)</p> <p>4. 20(火) 行財政改革のための新幹線 東京—新大阪間 普通運賃 5,700円 ⇒ 6,200円 同指定席 特急料金 4,200円 ⇒ 4,600円</p>	<p>3. 20(金) 神戸博 ポートピア'81 開幕(～9.15) 海上都市ポートアイランド完成記念</p> <p><b>緊縮財政で、修学旅行費等補助金も漸増</b></p> <p><b>東海汽船・新型双胴高速船「シーガル」</b> 東京—伊豆大島—新島間 7月就航 熱海—伊豆大島間 9月就航</p> <p>4. 12(日)～14(火) 世界初の有人宇宙船スペースシャトル“コロンビア”軌道飛行成功・着陸</p> <p><b>校外学習の全国実態調査を実施</b></p> <p><b>国鉄運賃——5年間連続値上げ</b></p>	<p><b>財団法人・全修協創立25周年</b></p> <p>2. 20(金)～21(土) 財団法人・全修協創立25周年記念式典並びに第22回総会の開催</p> <p>○昭和56年度の修学旅行費補助金は小学生10,300円、中学生33,300円に決定(前年度小学生 9,450円、中学生31,600円)、校外活動費補助金は小学生日帰り610円宿泊 1,450円、中学生日帰り 910円宿泊2,140円に決定。緊縮財政の査定が続き、増額僅少。</p> <p>○新型双胴高速船は全長35.9m幅17.1m、672トン、27ノット、定員 408名。海面下に魚雷型没水体があり、その上が船体で動揺が極めて少ない。</p> <p>○7～8月 全修協・第25回研修旅行の実施 夏季研修旅行を中心に、冬、春、秋の各季研修旅行実施、総計 4,542人(累計 130,469人)の参加。</p> <p>8. 3(月)～ 全修協・第7次日本教職員友好訪華団の派遣(12日間)</p> <p>9. 9(水) 教職員福祉問題研究会の発足 全修協・研修旅行等の事業支援の組織として連携。</p> <p>9. 28(月) 全国公私立中高校の校外学習実態調査実施 校外学習全般につき、全修協と東京私立中高校協会の協力で、公立高校 756校公立中学 793校抽出、私立高校 1,250校私立中学 630校悉皆で調査実施。</p> <p>4. 20(火) 国鉄運賃6.1%の値上げ、S.53年から5年間連続。東京—札幌間19,500円を20,550円、東京—鹿児島間20,200円を21,300円に改定。一方、航空3社の修学旅行運賃35%引き(S.58年1月1日実施)</p> <p>○昭和57年度首都圏修学旅行の新幹線輸送概況 関東地区中学連合——春 699校 178,388人 都公立中連合一春 361校92,879人秋 183校50,107人 神奈川県中学連合——春 337校 106,776人 山梨県中学連合——春 68校 10,852人 群馬・栃木南部高校連合一秋 75校 25,000人 茨城県高校連合一春16校 4,100人秋 34校11,000人 千葉県高校連合——秋 148校 53,250人 埼玉県高校連合——秋 51校 19,180人</p> <p>7. 2(金)、3(土) 第22回関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡協議会の開催 連絡協議会を連合委員会に改称決定。</p> <p>○7～8月 全修協・第26回研修旅行の実施 夏季研修旅行を中心に、冬、春、秋の各季研修旅行実施、総計 4,000人(累計 134,475人)の参加。</p> <p>○京都・二条城の自由観覧方式継続 御殿の案内誘導方式をやめ、自由観覧方式を継続。</p> <p>○近畿地区小学校修学旅行も、春 257校40,465人、秋 282校44,235人、総計 539校84,700人を輸送。</p>
昭和57年 (1982)	<p><b>健全育成と40人学級の実現へ</b></p> <p>2. 24(水) 文部省、小学校の抽出学力調査実施</p> <p>4. 1(木) 五百円硬貨 発行</p> <p>4. 20(火) 総理府青少年問題審議会が「青少年の非行問題への対応について」答申</p> <p>6. 24(木) 国鉄運賃 5年連続値上げ</p> <p>6. 26(土) 新幹線 東京—新大阪間 普通運賃 6,200円 ⇒ 6,600円 同指定席 特急料金 4,600円 ⇒ 4,900円</p> <p>7. 12(月) 大蔵省、全省庁に一律10%の歳出カット要求</p> <p>10. 13(水) 文部省、「教育公務員定年制について」教育委員会に通知</p>	<p>2. 9(火) 日航機、羽田空港で着陸失敗・逆噴射墜落—乗客死者24人、負傷者 150人</p> <p>6. 23(水) 東北新幹線開業式(大宮～盛岡間) <b>新幹線利用の修学旅行 中学校は春型、高校は秋型の傾向</b></p> <p>7. 24(土) 長崎から北九州地区が集中豪雨で大被害</p> <p>8. 2(月) 台風10号が中部・北陸を横断、被害27都府県</p> <p>11. 15(月) 上越新幹線開業(大宮～新潟間) <b>近畿地区小学校修学旅行、近鉄「あおぞら号」で8万5千人</b></p>	

年 代	一般的・教育的事項	修学旅行的事項	関 連 事 項
昭和58年 (1983)	1. 26(水)、27(木) 文部省、中学校の抽出学力調査実施 2. 12(土) 横浜市内少年グループが浮浪者連続殺傷 2. 15(火) 東京町田忠生中教諭が生徒を刺傷 3. 14(月) 臨調最終答申—増税なき再建行政改革7法案成立 8. 21(日) フィリピン、アキノ元上院議員を射殺 11. 15(火) 中教審・教育内容等小委、「時代の変化に対応する初等中等教育の教育内容などの基本的な在り方について」経過報告 11. 22(火) 教育職員養成審議会「教員の養成及び免許制度の改善について」答申	古都保存協力税問題の発生(京都市) 4. 15(金) 東京ディズニーランド、千葉県浦安市にオープン 25万坪総工費 1,500億円 5. 26(木) 戸塚ヨットスクールのコーチ6名、暴力行為容疑で逮捕 日本海中部地震 M7.7 9. 1(木) 大韓航空機、ソ連サハリン領空で撃墜、日本人28人を含む 269人全員死亡 10. 3(月) 三宅島雄山の大噴火 「修学旅行の問題行動」実態調査 3か年継続実施 10. 9(日) ビルマ訪問中の全斗煥大統領一行、ランゲーン・爆弾テロ事件に遭遇 修学旅行基準の改正 航空機利用の「条件付き許可」へ 文部省「自然教室」推進事業 昭和59年度より開始	○1月 古都保存協力税を寺社拝観料に上乗せ徴収、小・中学校修学旅行は無税を市議会で可決、寺社側の反対訴訟で問題発生。 ○東京都公立中学校修学旅行、東北新幹線利用の連合体輸送開始 5. 24(火) 修学旅行先での事故死 京都市旅館「中原」で松戸市立中修学旅行生5人が飲酒、女生徒1人がベランダ隅非常口から転落死。 ○日本海中部地震 午後0時2分発生、津波急襲で、男鹿市海岸へ遠足の秋田県小学生13人水死。 4. 2(土) 全修協・つくば科学博学校動向調査の実施 6. 10(金) 全修協・教育福祉団体概況全国調査の実施 ○7～8月 全修協・第27回研修旅行の実施 夏季研修旅行を中心に、冬、春、秋の各季研修旅行実施、総計 4,027人(累計 138,502人)の参加。 7. 1(金)、2(土) 第24回関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会の開催 続く11. 24(木) 25(金) 第25回開催により、「修学旅行の問題行動」実態調査の3か年継続実施の決定。その間9. 27(火) 問題行動調査特別委員会の開催。 ○全修協・昭和58年度修学旅行基準概要調査の実施 昭和32年以来、全国教育委員会協力により実施。航空機の利用では、「条件付き許可」も出始める。北海道の高校は「事前協議」、沖縄の中・高校「片道許可」、小・養の「離島地区許可」も、石川の高校は試行許可、大分の高校は「片道許可」、福岡・熊本各県・福岡市の高校は「条件付き許可」。 5. 23(水) 「自然教室」小・中学校第1次内定発表 小学校 469校53,052人、中学校 694校 170,552人 総計 1,163校 223,604人、原則5泊6日(1週間)だが、本年度は4泊5日、3泊4日も対象とする。 <b>全修協主導による全国修学旅行研究大会の開始</b> 7. 6(金) 全修協・第1回全国修学旅行研究大会(大阪市)の開催—文部省後援で現在まで継続実施 7. 6(金)、7(土) 第26回関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会の開催 続いて、11. 29(木)、30(金) 第27回開催。 ○7～8月 全修協・第28回研修旅行の実施 夏季研修旅行を中心に、冬、春、秋の各季研修旅行実施、総計 3,463人(累計 141,965人)の参加。 ○本郷高校の韓国修学旅行は往復とも、羽田—大阪—ソウル—キョンジュ—プサン—福岡—羽田のコースで航空機利用、韓国内は高速バス、特急列車「セマウル」利用、ソウルでは韓国中央高校との交歓会。費用96,000円、パスポート取得費 4,000円、15か月積立方式、全員最高 2,500万円の総合保険契約。
昭和59年 (1984)	2. 2(木) 警察庁、58年度中の「少年非行」発表—4年連続の戦後最高 11. 1(木) 一万円札 福沢諭吉 五千円札 新渡戸稲造 千円札 夏目漱石 新札発行(現行) 高校進学率93.9% 大学等進学率36.1%	1. 23(月) 日本初の实用放送衛星打上げ—「ゆり2号」 7. 29(日) 第23回オリンピック・ロサンゼルス大会開会(ソ連圏諸国ボイコット) 10. 2(火) ソ連、サリュート7号の3飛行士、8か月の宇宙空間滞在新記録を達成 10. 6(土)～12. 9(日) 国際伝統工芸博・京都 東京・私立本郷高校 韓国修学旅行をS56年から継続的实施	

戦後の修学旅行の年表

年 代	一般的・教育的事項	修学旅行的事項	関 連 事 項
昭和60年 (1985)	4. 24(水) 臨教審 審議経過の概要(そ の2)公表	文部省「特別活動」 実施状況調査を実施 (修学旅行実施率)	4. 26(金) 文部省、全国公立小・中・高校(約39,000 校)の特別活動実施状況調査を実施、8. 26(月)結果 発表、昭和59年度の修学旅行実施率判明。 小学校 84.7%、中学校 96.5%、高校 89.3%
半導体景 気	4. 30(火) 59年度中の貿易黒字 約 370億ドル、過去 最高	3. 17(日)~9. 16(月) 国際科学技術博覧会「科 学万博つくば'85」開催	5. 10(金) 関東地区東北新幹線専用臨第一陣の出発
4. 20(土) 新幹線 東京-新 大阪間 普通運賃 値上げ 7,200円 ⇒ 7,600円 同指定席 特急料金 5,000円 (前年値 上げ)	<b>教育改革</b> ——論議白熱	6. 8(土) 淡路島と鳴門市を結ぶ連 絡橋の大鳴門橋開通	7. 4(木)、5(金) 第28回関東・東海・近畿三地区公 立中学校修学旅行連合委員会の開催 問題行動調査特別委員会の継続(第3年次)
昭和61年 (1986)	6. 26(水) 臨教審 「教育改革に関する 第1次答申」提出	6. 8(土) 淡路島と鳴門市を結ぶ連 絡橋の大鳴門橋開通	7. 10(水) 古都保存協力税を大人50円、小・中学生30 円徴収、修学旅行の小・中団体は免除で実施、清水 寺、金閣寺等10余の寺社で拝観停止等の紛争継続。
9. 30(月) 1ドル=216円 円高210円台へ	9. 30(月) 1ドル=216円 円高210円台へ	6. 28(金) 厚生省発表 平均寿命 男 74.5歳 (S.59) 女 80.2歳	○7~8月 全修協・第29回研修旅行の実施 夏季研修旅行を中心に、冬、春、秋の各季研修旅行 実施、総計 3,943人(累計 145,908人)の参加。
11. 25(月) 1ドル=200円割れ	11. 25(月) 1ドル=200円割れ	8. 12(月) 日本航空の ジャンボ 747型機、群馬 県御巢鷹尾根に墜落一死 者 520人、重傷者 4人	10. 22(火) 全修協・第2回全国修学旅行研究大会 (大宮市)の開催
12. 27(金) 標準法改正(第5次 40人学級計画再開)	12. 27(金) 標準法改正(第5次 40人学級計画再開)	9. 19(木) M8.1のメキシコ大地震	10. 22(火)、23(水) 第29回関東・東海・近畿三地区 公立中学校修学旅行連合委員会の開催
1. 2(木) 円急上昇、200円台 を突破	1. 2(木) 円急上昇、200円台 を突破	1. 28(火) 米、スペースシャトル・ チャレンジャーが爆発 (乗員7人死亡)	○京都市の昭和60年 修学旅行宿泊 139万人——年々 増加、小中高校の総計 6,257校 1,388,000人。
9. 1(月) 国鉄運賃 3年連続 値上げ 新幹線 東京-新 大阪間 普通運賃 7,600円 ⇒ 8,100円 同指定席 特急料金 5,000円	1. 22(水) 臨教審 審議経過の概要(そ の3)公表	1. 28(火) 米、スペースシャトル・ チャレンジャーが爆発 (乗員7人死亡)	○奈良市の昭和60年 修学旅行宿泊 457,000人。 宿泊率16.9%、前年59年 宿泊 485,000人より減。
平成景気 ——円高 内需景気	2. 1(土) 東京中野富士見中2 年生いじめで自殺	東海汽船「かめりあ 丸」、阪釜フェリー 「オリンピック88」、 共に4月就航	<b>財団法人・全修協創立30周年</b>
	2. 21(金) 文部省「いじめと体 罰」調査結果発表	全修協、古都保存協 力税問題へ特例措置 を要望	3. 11(火)~12(水) 財団法人・全修協創立30周年記念 式典並びに第27回総会の開催
	2. 25(火) フィリピンでマルコ ス政権崩壊、アキノ 大統領就任宣言	「修学旅行の動向調 査」3か年継続実施	○東海汽船「かめりあ丸」 3,761トン、東京一大島・ 利島・新島・式根島・神津島間、阪釜フェリー「オ リンピア88」 9,955トン、大阪一釜山間、共に就航
	4. 23(水) 臨教審 「教育改革に関する 第2次答申」提出	4. 2(水) ギリシャ上空の米TWA 機で爆弾テロ、アラブ・ ゲリラが犯行声明	6. 16(月)、17(火) 全修協・関修委が古都保存協力税 問題で京都仏教会・関係寺院へ特例措置を要望、7 月拝観停止は回避、9月再び拝観停止で紛争継続。
	4. 29(火) 天皇在位60年式典、 東京国技館で開催	4. 28(月) ソ連チェルノブイリ原子 力発電所で大爆発事故	7. 4(金)、5(土) 第30回関東・東海・近畿三地区公 立中学校修学旅行連合委員会の開催 「修学旅行の 動向調査」の3か年継続実施の決定。
	5. 4(日) 第12回先進国首脳会 議(東京サミット)	11. 15(土) 伊豆大島三原山、200年 振り大噴火で全島民避難	7. 30(水) 東北自動車道一浦和~青森 674.7km開通 S.41年着工以来20年ぶりに全線開通、日本最長
		11. 28(金) 「国鉄民営化法案」参院 可決成立	○7~8月 全修協・第30回研修旅行の実施 夏季研修旅行を中心に、冬、春、秋の各季研修旅行 実施、総計 3,002人(累計 148,910人)の参加。
			9. 19(金)、20(土) 全修協・第1回修学旅行セミナー の開催(箱根)
			11. 14(金) 全修協・第3回全国修学旅行研究大会 (神戸市)の開催
			11. 14(金)、15(土) 第31回関東・東海・近畿三地区 公立中学校修学旅行連合委員会の開催

年 代	一般的・教育的事項	修学旅行的事項	関 連 事 項
昭和62年 (1987)	1. 23(金) 臨教審 審議経過の概要(その4)公表	公立高校の海外修学 旅行も実施へ 最初の中国修学旅行	3. 11(水)~15(日)一(4泊5日) 埼玉県浦和市立高校の中国修学旅行(上海・無錫・太湖・南京)実施—公立校最初の中国修学旅行
平成景気	4. 1(水) 臨教審 「教育改革に関する 第3次答申」提出 4. 24(金) 1ドル=130円台へ 8. 7(金) 臨教審 「教育改革に関する 第4次答申」最終 10. 12(月) 利根川進、ノーベル 医学・生理学賞受賞 12. 18(金) 教養審 「教員の資質能力の 向上方策等について」 答申 12. 24(木) 教課審 「幼・小・中及び高 校の教育課程の基準 の改善について」答 申	3. 28(土) '87世界古城博覧会(彦 根市)開幕(~5. 31)  国鉄民営化—JRへ 7. 9(木) 厚生省発表 平均寿命 男 75. 2歳 (S. 61) 女 80. 9歳 世界最高水準の長寿国 7. 18(土)~9. 28(月)開催 未来の東北博(仙台市) 仙台市地下鉄開通記念 8. 1(土)~11. 8(日)開催 天王寺博覧会(大阪市) 9. 14(月) 運輸省 “テン・ミ リオン計画” 発表 10. 17(土) 古都保存協力税廃止を市 議会で可決—廃止で決着	○公立校最初の韓国修学旅行は、昭和59年度福岡県立小倉商業高校の韓国修学旅行(4泊5日) ○熊本県教委はS. 62実施基準を改訂し高校の韓国修学旅行を許可、長崎県教委も中国・韓国旅行を試行。 4. 1(水) 日本国有鉄道(国鉄)の分割・民営化 北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州の各旅客鉄道KKと日本貨物鉄道KKに分割。 7. 3(金)、4(土) 第32回関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会の開催 ○7~8月 全修協・第31回研修旅行の実施 夏季研修旅行を中心に、冬、春、秋の各季研修旅行実施、総計4,065人(累計152,975人)の参加。 <b>全修協・研修旅行参加人数の累計15万人超</b> 9. 4(金)、5(土) 全修協・第2回修学旅行セミナーの開催(箱根) ○運輸省は5年計画で海外修学旅行促進も含め、海外旅行1,000万人目標の海外旅行倍増計画を発表。 11. 20(金)、21(土) 全修協・第4回全国修学旅行研究大会(名古屋市)並びに第33回関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会の開催
昭和63年 (1988)	1. 29(金) S. 62貿易黒字964億 ドル、経常収支 866 億ドル、史上最高	3. 20(日)~8. 31(水) 瀬戸大橋架橋記念博覧会 —倉敷と坂出で開催 海外修学旅行、最初 の列車大事故—上海	3. 18(金) 文部省は昭和61年度の高校国際交流等の状況調査の結果を発表、海外修学旅行は134校28,940人(内公立8校1,732人)、行先は韓国、中国等。 3. 24(木) 私立高知学芸高校修学旅行団が中国の上海近郊で列車事故に遭遇、死亡28人、重軽傷64人。 ●文初高第139号 「修学旅行における安全確保の徹底について」—海外修学旅行の事故発生に対応 ○昨年度熊本・長崎に続き、本年度岡山・山口・福岡・鹿児島・沖縄・福岡市・試行の佐賀6県1市の許可
平成景気	6. 18(土) 川崎市 助役のリクルート疑 惑、政官界続出発展 8. 20(土) イラン・イラク戦争 の停戦発効 9. 14(水) ビルマ 政変、ラングーン反 政府デモの武力鎮圧 9. 19(月) 天皇、大量吐血以来 重態に全国自粛態勢	3. 31(木) 文部省通達  修学旅行実施基準の 改訂—海外修学旅行 潜水艦と釣船の衝突 各地の博覧会、続出 4. 24(日)~10. 23(日) なら・シルクロード博 青函トンネル・3月 瀬戸大橋・4月開通 7. 9(土)~9. 18(日) 青函トンネル開通記念博 覧会—青森と函館で開催 9. 17(土) 第24回オリンピック・ソ ウル大会開会 京都の修学旅行宿泊 —漸減へ転換	7. 23(土) 潜水艦“なだしお”と釣船“第一富士丸”が衝突、釣船の乗客・乗員48人中29人が水死。 ○7~8月 全修協・第32回研修旅行の実施 夏季研修旅行を中心に、冬、春、秋の各季研修旅行実施、総計4,679人(累計157,654人)の参加。 9. 9(金)、10(土) 全修協・第3回修学旅行セミナーの開催(箱根) 11. 3(木) 山本全修協理事長勲五等双光旭日章を受章 11. 25(金)、26(土) 全修協・第5回全国修学旅行研究大会(水戸市)並びに第35回関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会の開催 ○京都市の修学旅行宿泊—昭和61年以降 漸減へ転換、昭和63年 総計5,320校1,135,000人。同様に奈良市も漸減、昭和63年 宿泊435,000人。
高校進学 率94.1%	12. 7(水) ソ連 アルメニア共和国大 地震、死者5万5千		
大学等進 学率 36.7%	12. 21(水) ソ連 ソユーズTM4宇宙 船帰還、宇宙滞在1 年間の新記録樹立		